デジタルものづくりクラブ 第16回　記録シート（記入例）

作品を、完成させる。

名前 （見本）

★ 完成の2条件

そろったら□に✓

- ☑ 設計書の基準が、全部○
- ☑ 先生に使ってもらい、直す

1 完成までに残っていること

最初に1行

換気の時間になったら、音が鳴るようにする

2 もらった声と、直したこと

先生の声を書く。直したら○

だれから	もらった声	直した
先生	「換気した」を押したら、「数え直しました」と出す	○
先生	残り時間の数字が小さくて、後ろから読めない	○

? 悩みの言い方

スクリーンショットでAIに頼む時も、この1文を添えます

（どこ）を（どうしたら）、（どうなった）　例：「換気した」を押したら、何も出ない

! コツ3：審査員として採点してもらう頼み方

そのまま使えます

設計書.md と index.html を読んで、全国情報教育コンテストの審査員になったつもりで採点してください。大会のテーマは「暮らしや学校をより良くする」です。審査の観点は、社会的貢献・実用性、使いやすさ、情報Ⅰの知識の活用、探究的な学び、革新性、倫理的配慮、完成度、説明力の8つです。受賞作には、①使う相手と場面が1つに絞られている ②困りごとの大きさを数字や今ある物との比べで示している ③操作がボタン1つなど少ない、という共通点があります。8つの観点を10点満点で採点してください。作品だけでは判断できない観点は「応募用紙で書く」としてください。そのうえで、受賞作の共通点と比べて足りない所を1つ選び、直し方を書いてください。ファイルは書き換えないでください。

フォルダ「（自分の名前）の作品」は**消さずに残します**。このシートは先生が回収します。